

TRAIL

いわき市の経済・景気の動き

経済・景気動向調査報告「トレイル」
第86号 令和6年9月13日発行

いわき市産業振興部

【全国景気動向】国内景気、個人消費の持ち直しで上向き！ 先行きに国内の物価上昇等と海外景気の下振れの懸念！

●「GDP」(R6年第ⅡQ=四半期。1次速報値*。8/15)の実質値は、2Q振りにプラス成長、名目値は初めて600兆円(年換算)を超えとなった。個人消費で自動車産業の品質不正問題の解決と3年振りにプラスに転じた雇用者報酬が主因。設備投資も自動車向けと業務用コンピュータ・同ソフト向けで増加した。

区分	前期	今期
GDP(実質)	▲0.6	0.8
(年率換算)	(▲2.3)	(3.1)
個人消費	▲0.6	1.0
設備投資	▲0.4	0.9
政府消費	0.3	0.1
公共投資	▲1.1	4.5
輸 出	▲4.6	1.4
輸 入	▲2.5	1.7

注)1. 今期は速報値。
2. 改定値(7/1)を折込済

*2次速報値(9/9)は0.7%(年率▲0.1)に下方修正。

●「月例経済報告(8月)」(8/29)の基調判断は、1年3ヵ月振りに上方修正された。猛暑でエアコン、日傘、アイス等、その他テレビ、新車等の個人消費の持ち直しによる(ただし消費マインドは足踏み)。先行きは、緩やかな回復が期待されるが、欧米の金利動向、中国の経済動向、中東情勢等の海外動向と、物価上昇、金融資本市場の変動等の国内動向の下振れリスクに注意する必要がある、としている。

基調判断	一部に足踏みが残るが緩やかに回復
個人消費	一部に足踏みが残るが持ち直し
設備投資	持ち直し
住宅投資	概ね横ばい
輸 出	概ね横ばい
輸 入	概ね横ばい
生 産	持ち直し
企業収益	総じて改善
雇用情勢	改善の動き
先行き判断	緩やかな回復

(注)太字は上方修正された項目

目 次

【全国景気動向】国内景気、個人消費の持ち直しで上向き！ 先行きに国内の物価上昇等と海外景気の下振れの懸念！

【いわき市景気動向】前期からの“足踏み”が継続！先行きに不安感が漂う！

【経済・景気四方山記事】全国5件、いわき市発1件

I 経済・景気調査：R6年第Ⅱ四半期(4~6月)

1. 経済の動き(主要指標別・主要経済データ)・・・3
2. 景気の動き(景気動向指数)・・・・・・・・・・9

【参考】-景気動向指数の内容、国・県の動き

II 景気ウォッチャー調査：令和6年8月時点・・・・・・16

【いわき市景気動向】前期からの“足踏み”が継続！ 先行きに不安感が漂う！

今期はプラス指標が多い。これは前期からの反動によるもの。“ならず”と横ばい状態になり、前期の足踏み状態は続いている。

足元の「景気ウォッチャー調査」(R6/8)では、“現状DI”は判断の分かれ目となる過半をこらうじて維持したが、“先行きDI”は過半割れし、先行き不安を示している。

● 経済・景気調査

【需要動向】自動車登録以外が軒並みプラス。ただ大型小売店舗販売、新設住宅、観光需要は前期からの反動による回復で、ならずと横ばい。

【企業動向】「生産」の卸売市場取引はマイナス、輸入通関実績はプラス。「企業」では法人市民税がプラス。そのほかは右表掲載外だが信用保証承諾額は前期▲26.3%→今期27.1%と前期の反動が出ている。倒産件数は7件。

【雇用動向】新規求人倍率、有効求人倍率とも昨年の水準よりわずかに低く、横ばいで推移。

● 景気ウォッチャー調査(R6年8月時点)

“現状DI”は、サービス、住宅、企業以外が増で、全業種では50.4㊦と判断の境目となる50㊦を僅か越え。

“先行きDI”は飲食以外が㊦減で、全業種は47.9㊦と過半割れ。

“自由意見”では、利益率低下、外出機会減少等物価に関するものや、人材不足に直面している実態に関するものが目立つ。

いわき市の動向(R6/4-6月)

区分	前期%	今期%
需要動向		
個人		
大型店舗販売	▲1.8	2.1
自動車登録	▲21.3	▲12.8
建築		
新設住宅	▲20.8	48.3
公共工事	136.5	19.7
観光需要	11.5	6.8
企業動向		
生産		
卸売市場取扱	▲0.2	▲8.0
輸入通関実績	▲31.4	8.7
法人市民税	▲9.9	7.6
企業倒産件数	8件	7件
雇用		
新規求人倍率	1.81倍	1.72倍
有効求人倍率	1.33倍	1.10倍

注：前年同期比。雇用は6月。

景気ウォッチャー調査抜粋('24/8)

区分	現状判断DI		先行判断DI	
	今回	㊦差	今回	㊦差
全業種	50.4	4.2	47.9	▲3.2
家計	53.7	5.8	49.5	▲4.2
小売	58.0	14.5	45.5	▲12.5
飲食	65.0	15.0	55.0	▲10.0
サービス	51.7	▲2.5	55.0	▲3.3
住宅	30.0	▲13.8	45.0	▲15.0
企業	37.5	▲6.7	37.5	▲0.0
雇用	41.7	6.7	58.3	▲16.6

(産業チャレンジ課)

【経済・景気四方山記事】

(原情報の要約・意識や筆者の解釈・所感を含む)

● 外国人材、地方・大都市で争奪！

今や韓国や台湾も外国人材の受け入れを強化しているなか、日本も賃金面を含めた国全体の魅力向上が求められている。こんな中、6/14改正出入国管理法*等が成立し、従来の“転職制限”が緩和され、外国人材の地域間での流動化が進みやすくなった。このため、賃金水準が大都市より低い地域では、定着率を上げる政策を競い始めることとなった。例えば「県内で3年間就労すれば30万円支給」(定着奨励：高知県)、「学習費等として1社300万円の上限補助」(資格取得奨励：広島県)、「困りごとをワンストップで解決する窓口設置」(相談体制：神奈川県)等。各地域は地域独自の有効策を至急検討する必要があるだろう。(R6/6/15日経新聞)

* ①在留資格：育成就労を新設、②期間：3年間(特定技能の水準まで)、③転職：1~2年の制約期間、④転職斡旋：民間は認めない。公布後3年以内で施行

● 「中堅企業」が地域経済のけん引に！

6/7公布の改正産業競争力強化法(産強法)で定められた中堅企業*1が地域経済のけん引力として期待されている。これまでも大企業と中小企業*2との中間的位置づけにある中堅企業が地域経済をけん引してきたが*3、今後は、別に定める特定要件(産強法で定義)に該当すれば特定中堅企業として①設備投資支援、②賃上げ実施時の税優遇、③M&A(合併&買収)への税優遇等の支援策が受けられるになり、地域経済に弾みをつけるけん引力として期待される。(R6/7/6日経新聞)

*1 中小企業を除く従業員2000人以上の会社。

*2 ①製造業：資本金3億円以下・従業員300人以下、②卸売業：同1億円以下・100人以下、③サービス業：同5千万円以下・同100人以下、④小売業：同5千万円以下・同50人以下(中小企業促進法)。

*3 この新たな区分で全国の中堅企業を見ると、福井県だけが10年まえに比べて増加、福島県は30%以上減少(以上帝国データバンク調べ)。

● 地域振興、バズっていこう - インフルエンサーが助っ人に - !

インフルエンサー(SNS等ネット上の影響力の高い人物)の助力で地域課題が“バズれば”(短期間に爆発的に話題が広がること)、課題解決のための情報が短期的に多くの人に届く。千葉市ではユーチューバーと市長との対話動画が契機で公営事業の競輪事業が活性化した。春日部市では、グルメや美容のインフルエンサーを講師として招き、市内スポットと一緒に周遊し、参加者はSNS運用の

コツを学んで訪問先の魅力をSNSで発信した。川崎市多摩区が設けた“PRアンバサダー制度”では、アンバサダーが区内の観光スポット、飲食店等をSNSで発信する。SNSへの投稿の対しては多くにフォロワーが付き、バズり現象になる。こうしてみると、行政も日頃からインフルエンサーと良い関係を作っておく必要があるということか。(R6/7/18日経新聞)

● 当市の“都市特性評価”、90位に後退！

人口17万人以上136都市の経済や住みやすさなどを多角的に分析した「日本の都市特性評価」が発表された。①経済ビジネス、②研究・開発、③文化交流、④生活居住、⑤環境、⑥交通・アクセスの6分野28指標グループ87指標を分析・評価したもの*。いわき市の総合評価は、昨年度86位から今年度90位に後退。(今年度の福島市は87位、郡山市は88位)。当該都市の現在の力を客観的に把握できる有用な資料である。(7/30「日経新聞神奈川版」)

* 6分野別年度比較(昨年度→今年度)は以下の通り。①経済ビジネス(91→90)、②研究・開発(87→86)、③文化交流(45→46)、④生活居住(88→88)、⑤環境(24→64)、⑥交通・アクセス(84→82)。総合(86→90)。森記念財団都市戦略研究所による。

● もがく日本のライドシェア！

タクシー会社の管理下でタクシーが不足する曜日や時間、地域を限定して一般ドライバーの運行を認める、とする日本版のライドシェアが4月からスタートした。だがこれまで、働き方に制約が多くドライバーが集まらない、利用時間や利用場所のミスマッチが多い、などの課題が露呈している。地方の場合、都市部とは違った事情を抱えており、ライドシェア導入に際しては、一部地域で実施しているように、地域の事情を実証実験で把握し、その地域にあったライドシェアを追求すべきであろう。(8/8㊤・9㊦日経新聞)

● 【いわき市発】

「職人育成塾ふくしま・いわき校」が開校！

- 建築業の人材不足・技術継承を解消へ -

9/30、「職人育成塾ふくしま・いわき校」が開校される。受講者は、内装・外装工事、造園工事の関する知識と技術が習得できる。受講料は無料。運営は(一社)職人育成塾ふくしま*。同法人は、未経験者の訓練を通じ技能者を自前で確保できるとともに、地元への就業をも後押しすることになる。

* 田村建材(株)、(株)山一緑化土木、大和電設工業(株)、いわきサッシ(株)の4社で構成

東日本国際大学名誉教授 大川信行

I 経済・景気調査：令和6年第Ⅱ四半期（4～6月）

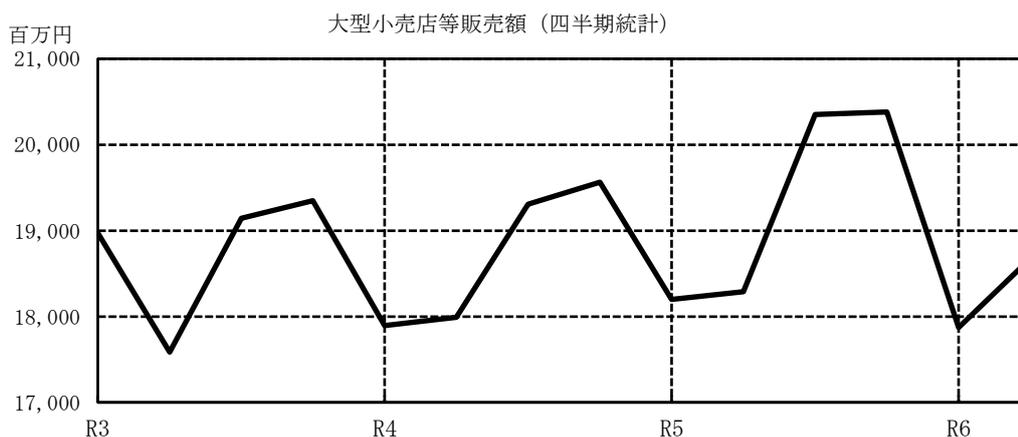
1 いわき市の経済の動き

（1） 主要部門の動向（令和6年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

① 需要動向

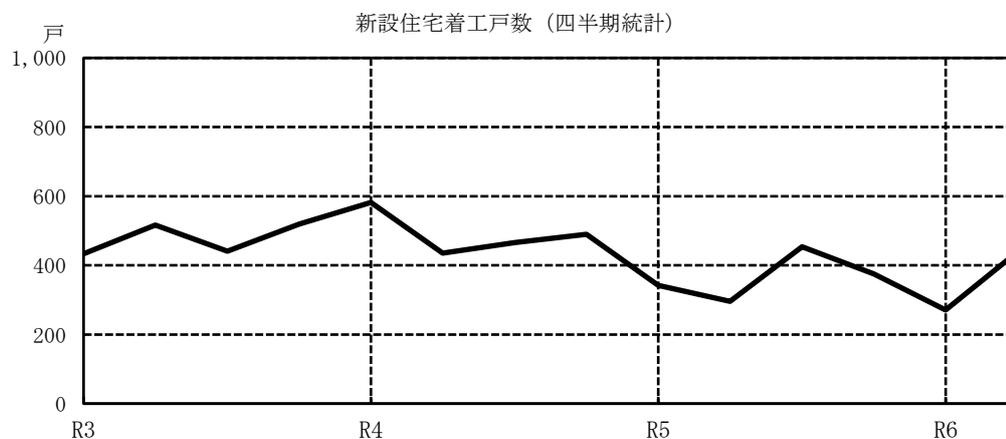
【個人消費】 ○ 第Ⅱ四半期（4～6月）の大型小売店等販売額は約187億円（前年同期比2.1%の増加）となり、2四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 自動車新規登録台数は3,433台（前年同期比12.8%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。



【建設需要】 ○ 新設住宅着工戸数は439戸（前年同期比48.3%の増加）となり、7四半期振りに前年の水準を上回った。

○ 公共工事等受注額は約75億円（前年同期比19.7%の増加）となり、3四半期連続で前年の水準を上回った。

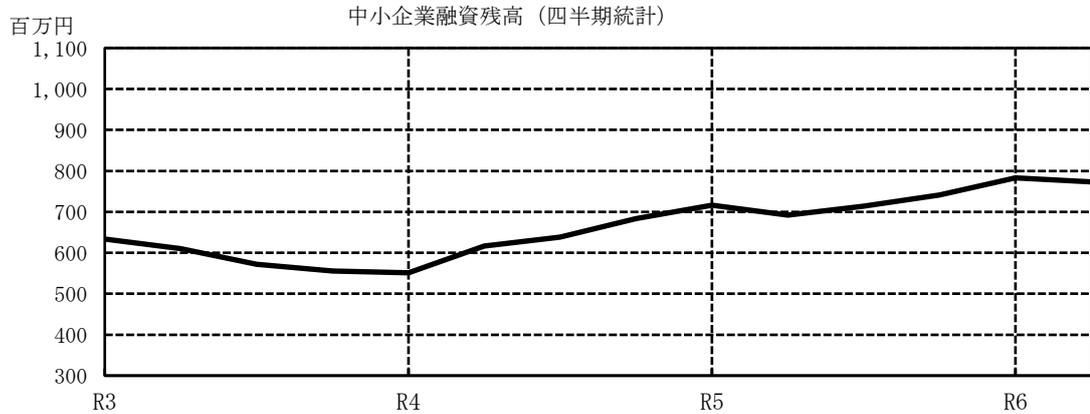


【観光需要】 ○ 観光施設利用者指数は、75.5（前年同期比6.8%の上昇）となり、令和4年第Ⅰ四半期以降、10四半期連続で前年の水準を上回った。

② 企業動向

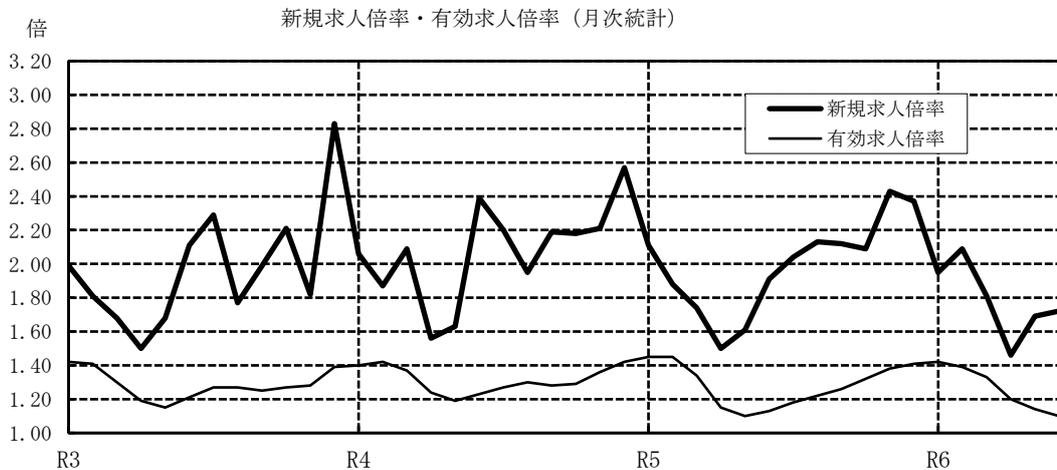
- 第Ⅱ四半期（4～6月）のいわき市中央卸売市場取扱高は約34億円（前年同期比8.0%の減少）となり、2四半期連続で前年の水準を下回った。

- 【企業活動】**
- いわき市中小企業融資残高は約7.7億円（前年同期比11.8%の増加）となり、令和4年第2四半期以降、9四半期連続で前年の水準を上回った。
 - 負債1千万円以上の企業倒産件数は7件（前年同期比40.0%の増加（＝悪化））となり、2四半期連続で前年の水準を上回った。



③ 雇用情勢

- 【雇 用】**
- 6月の新規求人倍率は1.72倍（前年同月より0.19ポイントの低下）となり、2ヵ月振りに前年の水準を下回った。
 - 6月の有効求人倍率は1.10倍（前年同月より0.03ポイントの低下）となり、3ヵ月振りに前年の水準を下回った。
 - 第Ⅱ四半期（4～6月）の雇用保険受給者実人員は3,280人（前年同期比6.6%の減少(=改善)）となり、4四半期連続で前年の水準を下回った(改善した)。



(2) 主要経済データ

区分	需要動向													
	個人消費				建設需要						観光需要			
	大型小売店等販売額	前年同期比	自動車新規登録台数	前年同期比	新設住宅着工戸数	前年同期比	建築確認申請受付件数	前年同期比	公共工事等受注額	前年同期比	観光施設利用者指数	前年同期比	入湯税調定人員	前年同期比
年月	(百万円)	(%)	(台)	(%)	(戸)	(%)	(件)	(%)	(百万円)	(%)	(H24・四半期平均=100)	(%)	(人)	(%)
【年次統計】														
令和元年	74,924	-2.8	21,098	3.8	1,646	-31.9	1,084	-16.1	45,162	90.7	367	-6.9	640,323	-5.6
令和2年	76,999	2.8	18,105	-14.2	2,001	21.6	995	-8.2	47,501	5.2	195	-47.0	359,932	-43.8
令和3年	75,051	-2.5	16,318	-9.9	1,911	-4.5	1,077	8.2	87,871	85.0	177	-9.2	301,384	-16.3
令和4年	74,755	-0.4	15,143	-7.2	1,973	3.2	1,176	9.2	34,321	-60.9	271	53.1	407,735	35.3
令和5年	77,220	3.3	17,639	16.5	1,467	-25.6	1,310	11.4	25,367	-26.1	352	30.1	548,789	34.6
【四半期統計】														
令和4年 III	19,308	0.9	3,643	1.3	466	5.7	314	16.3	13,321	0.1	95.1	100.8	122,725	42.8
IV	19,562	1.1	3,777	10.0	490	-5.6	329	29.0	4,788	-68.1	69.8	13.3	110,006	2.4
令和5年 I	18,198	1.7	5,098	10.9	342	-41.2	241	0.8	3,413	-67.6	61.7	42.0	142,714	61.3
II	18,288	1.6	3,935	25.8	296	-32.0	357	21.4	6,235	9.7	70.7	12.9	122,181	41.2
III	20,353	5.4	4,114	12.9	454	-2.6	385	22.6	7,307	-45.1	110.1	15.7	139,990	14.1
IV	20,381	4.2	4,492	18.9	375	-23.5	327	-0.6	8,412	75.7	110.1	57.8	143,904	30.8
令和6年 I	17,873	-1.8	4,012	-21.3	271	-20.8	314	30.3	8,071	136.5	68.7	11.5	131,586	-7.8
II	18,675	2.1	3,433	-12.8	439	48.3	354	-0.8	7,461	19.7	75.5	6.8	126,066	3.2
【月次統計】														
令和4年7月	6,518	2.0	1,218	-9.8	188	27.9	81	-10.0	4,614	-7.5	26.0	23.5	31,467	12.8
8月	6,737	0.7	994	-8.1	100	-35.1	117	46.3	4,158	46.2	43.8	162.9	37,199	12.4
9月	6,053	-0.2	1,431	22.9	178	27.1	116	16.0	4,549	-17.0	25.3	162.4	54,059	116.7
10月	6,273	2.7	1,209	19.8	147	-21.0	116	31.8	2,580	-76.1	25.1	40.5	44,320	34.3
11月	6,171	5.4	1,394	3.9	120	0.8	116	33.3	1,171	13.8	21.8	0.7	43,306	24.3
12月	7,118	-3.6	1,174	8.3	223	4.2	97	21.3	1,037	-67.6	23.0	3.5	22,380	-43.5
令和5年1月	6,134	2.6	1,442	10.8	89	-72.4	82	13.9	216	-87.5	19.0	16.4	58,444	47.6
2月	5,639	0.8	1,548	12.3	98	-21.6	91	33.8	684	-74.2	17.2	83.9	35,888	9.7
3月	6,425	1.6	2,108	10.1	155	15.7	68	-31.3	2,513	-59.2	25.5	43.5	48,382	199.6
4月	6,058	2.2	1,292	23.4	87	-61.2	102	-8.1	1,234	-27.2	20.1	20.3	45,605	66.0
5月	6,235	1.9	1,234	27.5	66	-2.9	113	79.4	491	209.5	29.2	10.4	37,374	29.2
6月	5,995	0.8	1,409	26.6	143	0.0	142	18.3	4,510	17.7	21.3	10.0	39,202	30.2
7月	6,809	4.5	1,315	8.0	123	-34.6	146	80.2	2,775	-39.9	29.7	14.3	36,886	17.2
8月	7,148	6.1	1,176	18.3	119	19.0	133	13.7	1,479	-64.4	54.8	25.0	40,640	9.3
9月	6,396	5.7	1,623	13.4	212	19.1	106	-8.6	3,053	-32.9	25.6	1.2	62,464	15.5
10月	6,372	1.6	1,645	36.1	110	-25.2	110	-5.2	4,749	84.0	29.7	18.5	46,919	5.9
11月	6,112	-1.0	1,585	13.7	150	25.0	120	3.4	2,046	74.7	54.8	151.7	49,675	14.7
12月	7,897	10.9	1,262	7.5	115	-48.4	97	0.0	1,617	56.0	25.6	11.6	47,310	111.4
令和6年1月	5,941	-3.1	1,203	-16.6	92	3.4	92	12.2	1,594	638.0	21.3	12.2	43,048	-26.3
2月	5,741	1.8	1,184	-23.5	84	-14.3	98	7.7	383	-44.0	20.5	19.6	40,149	11.9
3月	6,190	-3.7	1,625	-22.9	95	-38.7	124	82.4	6,094	142.5	26.9	5.5	48,389	0.0
4月	6,086	0.5	1,124	-13.0	174	100.0	124	21.6	1,418	14.9	22.1	9.9	52,099	14.2
5月	6,318	1.3	1,076	-12.8	126	90.9	129	14.2	1,265	157.6	28.9	-0.9	38,612	3.3
6月	6,271	4.6	1,233	-12.5	139	-2.8	101	-28.9	4,778	5.9	24.4	14.4	35,355	-9.8
出典:	いわき市産業 チャレンジ課		いわき自動車検査登 録事務所、全国軽自 動車協会連合会いわ き支所		県土木部		市建築指導課		いわき市建設業協 同組合、(社)福島 県建設業協会いわ き支所		いわき市産業 チャレンジ課(市内 主要観光施設 の利用者数を 指数化)		いわき市市民 税課	

(注) ーは「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
 四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	企業動向													
	生産活動				企業活動									
	いわき市中央卸売市場取扱高		小名浜港輸入通関実績		いわき市中小企業融資残高		いわき市中小企業融資利率		信用保証承諾額		信用保証協会代位弁済		法人市民税調定額	
	(百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)	(%)	(%p)	(百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)	(百万円)	前年同期比 (%)
年 月	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(%p)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	(百万円)	(%)	
【年次統計】														
令和元年	12,898	-7.4	345,294	-8.7	1,009	-12.7	2.05	0.0	21,136	13.4	964	60.1	4,101	-19.8
令和2年	13,550	5.1	321,606	-6.9	781	-22.5	2.13	0.1	67,962	221.6	560	-41.9	4,199	2.4
令和3年	13,930	2.8	355,137	10.4	593	-24.1	2.06	-0.1	37,047	-45.5	220	-60.7	3,312	-21.1
令和4年	14,883	6.8	624,189	75.8	622	5.0	1.77	-0.3	21,406	-42.2	738	234.8	3,577	8.0
令和5年	16,040	7.8	530,374	-15.0	716	15.0	1.62	-0.2	26,677	24.6	932	26.3	3,359	-6.1
【四半期統計】														
令和4年 III	3,711	8.4	166,716	56.2	639	11.6	2.03	0.21	5,912	-2.3	242	473.0	726	-15.7
IV	4,720	11.8	193,735	91.2	684	23.1	1.78	-0.43	5,488	5.0	180	289.1	1,193	42.8
令和5年 I	3,446	9.4	152,954	48.6	716	29.9	1.99	-0.03	8,506	30.1	223	-15.8	502	9.3
II	3,740	13.3	133,582	-16.9	692	12.3	1.21	-0.12	4,815	38.7	117	132.1	985	-17.8
III	4,011	8.1	140,384	-15.8	714	11.8	1.99	-0.04	6,906	16.8	255	5.2	857	17.9
IV	4,843	2.6	103,454	-46.6	741	8.4	1.28	-0.50	6,450	17.5	337	86.7	1,016	-14.8
令和6年 I	3,440	-0.2	104,991	-31.4	783	9.4	1.97	-0.02	6,270	-26.3	334	49.5	452	-9.9
II	3,442	-8.0	145,149	8.7	774	11.8	1.98	0.77	6,120	27.1	254	117.3	1,060	7.6
【月次統計】														
令和4年7月	1,275	1.3	46,274	61.0	632	9.2	2.12	-0.08	1,702	-16.5	102	665.6	342	-18.9
8月	1,278	13.3	60,189	78.8	628	7.6	2.20	0.65	1,411	-0.7	4	-37.7	295	-13.2
9月	1,158	11.9	60,253	36.0	655	18.5	1.77	0.07	2,800	8.0	136	513.1	89	-10.6
10月	1,256	10.1	67,536	57.5	683	26.4	1.70	-	1,420	10.1	141	-	113	43.8
11月	1,280	6.5	56,208	112.6	673	19.0	2.20	0.00	1,496	-2.7	7	33.3	993	41.3
12月	2,184	16.4	69,991	118.9	694	24.1	1.43	-0.78	2,572	7.3	33	-20.8	87	59.5
令和5年1月	1,089	6.3	50,374	33.0	700	26.8	2.00	0.05	1,529	26.1	2	-95.6	91	-17.7
2月	1,072	9.9	45,458	67.0	733	35.2	2.20	-	2,294	42.1	90	-56.5	125	-5.4
3月	1,284	11.8	57,122	51.0	715	27.8	1.76	-0.33	4,682	26.2	132	895.8	285	32.3
4月	1,217	6.7	38,877	-28.9	701	21.0	1.03	-0.18	1,116	20.4	1	-	151	32.6
5月	1,260	15.3	47,170	-7.5	694	10.2	1.55	-0.13	1,655	32.9	116	205.3	304	7.5
6月	1,264	18.3	47,535	-13.8	681	6.5	1.05	-0.05	2,044	57.4	0	-100.0	530	-33.9
7月	1,375	7.8	42,781	-7.5	679	7.4	2.10	-0.02	2,799	64.4	215	110.1	400	16.8
8月	1,334	4.4	42,704	-29.1	703	11.8	1.95	-0.25	2,343	66.1	33	678.3	370	25.6
9月	1,302	12.4	54,899	-8.9	760	15.9	1.92	0.15	1,764	-37.0	7	-94.8	86	-3.2
10月	1,303	3.7	19,947	-70.5	750	9.8	1.50	-0.20	1,862	31.1	158	12.5	138	22.6
11月	1,334	4.2	33,244	-40.9	731	8.5	1.28	-0.93	1,565	4.6	148	2,037.8	792	-20.3
12月	2,206	1.0	50,263	-28.2	743	7.0	1.05	-0.38	3,024	17.6	30	-7.6	86	-1.4
令和6年1月	1,038	-4.7	35,018	-30.5	787	12.4	1.70	-0.30	1,776	16.2	217	10,712.8	103	13.1
2月	1,170	9.2	28,343	-37.7	776	5.8	2.00	-0.20	2,033	-11.4	91	1.5	124	-0.7
3月	1,232	-4.1	41,630	-27.1	787	10.0	2.20	0.44	2,460	-47.4	25	-80.7	225	-21.2
4月	1,210	-0.6	54,637	40.5	755	7.7	1.89	0.86	1,412	26.6	56	7,180.1	157	3.9
5月	1,157	-8.2	39,120	-17.1	771	11.2	2.20	0.65	1,840	11.2	60	-48.2	310	2.0
6月	1,075	-14.9	51,392	8.1	794	16.7	1.86	0.81	2,867	40.3	138	-	594	11.9
出典：	いわき市中央卸売市場（水産）	横浜税関		いわき市産業チャレンジ課（年次統計は12カ月の平均値、四半期統計は3カ月の平均値） ”-”は実績なし。実績ない月は平均値算出から除く。				福島県信用保証協会				いわき市市民税課（法人税割）		

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7～9月、IVは10～12月を示す。

区分	企業動向									
	倒産				中小企業DI調査					
	企業倒産件数		企業倒産負債総額		製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	総合(全業種)
	前年同期比	前年同期比	前年同期比	前年同期比						
年月	(件)	(%)	(百万円)	(%)						
【年次統計】										
令和元年	14	-6.7	1,669	-82.6	-	-	-	-	-	-
令和2年	14	0.0	1,186	-28.9	-	-	-	-	-	-
令和3年	10	-28.6	1,375	15.9	-	-	-	-	-	-
令和4年	13	30.0	1,714	24.7	-	-	-	-	-	-
令和5年	16	23.1	4,649	171.2	-	-	-	-	-	-
【四半期統計】										
令和4年 III	2	0.0	137	-74.9	-	-	-	-	-	-
IV	6	50.0	522	11.8	-	-	-	-	-	-
令和5年 I	3	-25.0	95	-83.6	-	-	-	-	-	-
II	5	400.0	2,871	501.9	-	-	-	-	-	-
III	2	0.0	165	20.4	-	-	-	-	-	-
IV	6	0.0	1,518	190.8	-	-	-	-	-	-
令和6年 I	8	166.7	1,480	1,457.9	-	-	-	-	-	-
II	7	40.0	1,982	-31.0	-	-	-	-	-	-
【月次統計】										
令和4年7月	1	0.0	127	-51.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	-	10	-	-	-	-	-	-	-
9月	0	-100.0	0	-100.0	-21.9	-25.0	9.1	-11.1	25.0	-12.5
10月	3	50.0	220	89.7	-	-	-	-	-	-
11月	2	0.0	292	-16.8	-	-	-	-	-	-
12月	1	-	10	-	-22.6	-42.9	-7.7	-42.9	12.5	-19.7
令和5年1月	0	-100.0	0	-	-	-	-	-	-	-
2月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
3月	3	50.0	95	-55.4	-30.0	-40.0	-22.2	-25.0	0.0	-25.3
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
6月	5	400.0	2,871	501.9	-14.2	-10.0	-18.2	-70.0	-11.1	-22.1
7月	1	0.0	15	-88.2	-	-	-	-	-	-
8月	1	0.0	150	1,400.0	-	-	-	-	-	-
9月	0	-	0	-	-23.4	-37.5	-27.3	-50.0	-12.5	-28.3
10月	2	-33.3	270	22.7	-	-	-	-	-	-
11月	3	50.0	516	76.7	-	-	-	-	-	-
12月	1	0.0	732	7,220.0	-24.1	16.6	0.0	-44.4	0.0	-16.6
令和6年1月	3	-	320	-	-	-	-	-	-	-
2月	4	-	650	-	-	-	-	-	-	-
3月	1	-66.7	510	436.8	-6.9	0.0	-41.7	-20.0	-12.5	-14.7
4月	0	-	0	-	-	-	-	-	-	-
5月	5	-	1,390	-	-	-	-	-	-	-
6月	2	-60.0	592	-79.4	-18.7	-44.5	0.0	-11.1	-14.3	-17.7
出典：	東京商工リサーチ（負債総額1,000万円以上）				福島県産業振興センター（前年同月比で「良化」-「悪化」社数構成比（各月末時点） 平成17年4月以降3ヵ月毎に調査					

(注) -は「調査データなし」または変化率の分母が0になる場合。速報値を含む。
四半期統計においてIは1～3月、IIは4～6月、IIIは7月～9月、IVは10～12月を示す。

区 分	雇 用						そ の 他						
	新規 求人 倍率		有効 求人 倍率		雇用保 険受給 者実人 員		高速道 路出入 交通量		いわき市景気ウォッチャー調査(先行きD I)				
	前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		前年 同期比		家計動向	企業動向	雇用関連	総合	
年 月	(倍)	(%p)	(倍)	(%p)	(人)	(%)	(千台)	(%)					
【年次統計】													
令和元年	2.14	-0.07	1.57	-0.05	13,479	3.1	9,319	-8.4	-	-	-	-	
令和2年	1.91	-0.23	1.33	-0.24	15,827	17.4	7,760	-16.7	-	-	-	-	
令和3年	1.99	0.08	1.29	-0.04	14,808	-6.4	7,427	-4.3	-	-	-	-	
令和4年	2.02	0.03	1.31	0.03	14,068	-5.0	7,855	5.8	-	-	-	-	
令和5年	1.97	-0.05	1.27	-0.04	13,914	-1.1	8,331	6.1	-	-	-	-	
【四半期統計】													
令和4年 III	-	-	-	-	3,885	-3.1	2,087	15.6	-	-	-	-	
IV	-	-	-	-	3,451	-1.8	2,066	1.6	-	-	-	-	
令和5年 I	-	-	-	-	3,220	-0.9	1,936	10.8	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,513	0.8	2,018	3.2	-	-	-	-	
III	-	-	-	-	3,796	-2.3	2,218	6.2	-	-	-	-	
IV	-	-	-	-	3,385	-1.9	2,159	4.5	-	-	-	-	
令和6年 I	-	-	-	-	3,075	-4.5	2,038	5.3	-	-	-	-	
II	-	-	-	-	3,280	-6.6	2,100	4.1	-	-	-	-	
【月次統計】													
令和4年7月	2.20	-0.09	1.27	0.00	1,256	-7.4	689	3.8	-	-	-	-	
8月	1.95	0.18	1.30	0.03	1,369	-0.4	727	25.5	47.8	45.5	45.8	47.2	
9月	2.19	0.20	1.28	0.03	1,260	-1.6	671	19.3	-	-	-	-	
10月	2.18	-0.03	1.29	0.02	1,198	-1.4	705	7.4	-	-	-	-	
11月	2.21	0.39	1.36	0.08	1,140	0.3	679	-0.3	46.0	33.9	54.2	44.1	
12月	2.57	-0.26	1.42	0.03	1,113	-4.1	681	-2.0	-	-	-	-	
令和5年1月	2.11	0.05	1.45	0.05	1,093	0.4	625	4.9	-	-	-	-	
2月	1.88	0.01	1.45	0.03	1,052	2.4	594	18.3	55.0	39.6	55.0	51.8	
3月	1.74	-0.35	1.34	-0.03	1,075	-5.0	717	10.4	-	-	-	-	
4月	1.50	-0.06	1.15	-0.09	1,083	-2.3	663	2.5	-	-	-	-	
5月	1.61	-0.02	1.10	-0.09	1,202	10.9	702	5.4	61.3	45.3	50.0	56.9	
6月	1.91	-0.48	1.13	-0.10	1,228	-4.9	653	1.7	-	-	-	-	
7月	2.04	-0.16	1.18	-0.09	1,258	0.2	733	6.4	-	-	-	-	
8月	2.13	0.18	1.22	-0.08	1,326	-3.1	800	10.1	56.1	36.7	53.6	51.8	
9月	2.12	-0.07	1.26	-0.02	1,212	-3.8	684	1.9	-	-	-	-	
10月	2.09	-0.09	1.32	0.03	1,225	2.3	721	2.3	-	-	-	-	
11月	2.43	0.22	1.38	0.02	1,111	-2.5	719	5.8	54.2	38.3	50.0	50.4	
12月	2.37	-0.20	1.41	-0.01	1,049	-5.8	719	5.6	-	-	-	-	
令和6年1月	1.95	-0.16	1.42	-0.03	1,057	-3.3	660	5.6	-	-	-	-	
2月	2.09	0.21	1.39	-0.06	1,044	-0.8	649	9.2	56.5	40.4	43.8	52.4	
3月	1.81	0.07	1.33	-0.01	974	-9.4	729	1.8	-	-	-	-	
4月	1.46	-0.04	1.20	0.05	1,045	-3.5	696	4.9	-	-	-	-	
5月	1.69	0.08	1.14	0.04	1,100	-8.5	720	2.5	54.7	42.3	40.0	51.1	
6月	1.72	-0.19	1.10	-0.03	1,135	-7.6	685	4.9	-	-	-	-	
出典：	ハロワークいわき（年間倍率は年度ベースの値）						株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部		いわき市産業戦略課(H30.1調査開始)景気ウォッチャー（いわき市民）に景気の先行きを質問。良くなる（1点）、不変（0.5点）、悪く（0点）に回答者構成比を乗じて指数を算出。				

2 いわき市の景気の動き（景気動向指数）（令和6年第Ⅱ四半期（4～6月）の状況）

（1） C I（コンポジット・インデックス）

① 概要

6月のCIは、先行指数が114.5、一致指数が146.1、遅行指数が134.4となった。

② 指数別の動向（指数はR2の水準を100とする）

【先行指数】 6月は114.5ポイントで、5ヵ月ぶりに低下した。

寄与度がプラスの指標は、自動車新規登録台数（4ヵ月連続）、鉱工業在庫率指数（逆）（2ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、建築確認申請受付件数（4ヵ月振り）、新規求人倍率（2ヵ月振り）等の5指標であった。

【一致指数】 6月は146.1ポイントで、2ヵ月振りに上昇した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資残高（2ヵ月連続）、大型小売店等販売額（3ヵ月連続）等の8指標、マイナスの指標は、有効求人倍率（2ヵ月連続）の1指標であった。

【遅行指数】 6月は134.4ポイントで、2ヵ月連続で低下した。

寄与度がプラスの指標は、いわき市中小企業融資利率（2ヵ月振り）、雇用保険受給者実人員（逆）（3ヵ月振り）等の3指標、マイナスの指標は、いわき市中央卸売市場取扱高（4ヵ月連続）、入湯税調定人員（2ヵ月連続）等の4指標であった。

※C Iの変化の大きさは景気の勢い（テンポ）を示す。

③ 指数の推移及び寄与度の内訳（C Iの上昇・下降がどの指標により引き起こされたか）（R2=100）

区 分	令和5年						令和6年						
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	
先行指数（C・I）	121.8	123.2	117.9	120.6	120.4	110.7	107.9	108.6	111.4	119.8	120.7	114.5	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-1.75	1.47	-5.38	2.76	-0.2	-9.73	-2.75	0.66	2.80	8.49	0.86	-6.20	
先行系列寄与度内訳	1. 自動車新規登録台数	-3.13	3.02	-0.13	4.50	-3.93	-0.39	-4.26	-2.66	2.83	4.73	0.82	1.80
	2. 新設住宅着工戸数	-0.69	0.64	2.01	-2.97	1.78	-1.57	0.05	-0.87	0.67	2.05	-0.33	-0.94
	3. 建築確認申請受付件数	2.22	-2.17	-2.93	0.52	1.58	-1.12	0.11	-0.14	1.21	0.23	1.00	-4.83
	4. 鉱工業在庫率指数（逆）	-0.70	-0.37	1.57	1.28	-1.32	-0.56	-0.43	1.67	-1.15	1.11	-1.05	0.64
	5. 中小企業DI（全業種）	-0.01	-0.01	-4.75	0.06	0.06	-2.74	0.12	0.12	0.40	0.08	0.09	-0.47
	6. 新規求人倍率	0.48	2.14	-1.20	-0.65	1.88	-3.75	1.39	1.70	-1.54	-0.06	0.41	-2.78
	7. いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	-0.05	-1.95	-0.05	-0.05	-0.52	-0.02	-0.02	0.57	-0.04	-0.04	-0.48	-0.06
	8. 一致指数トレンド成分	0.12	0.16	0.10	0.06	0.26	0.41	0.29	0.27	0.43	0.39	0.38	0.43
一致指数（C・I）	126.5	127.2	127.4	129.4	129.7	135.3	135.7	137.9	140.8	146.7	141.4	146.1	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	2.80	0.70	0.27	1.98	0.32	5.56	0.43	2.20	2.87	5.92	-5.30	4.66	
一致系列寄与度内訳	1. 公共工事受注額	-1.30	-2.10	-1.26	1.94	0.76	0.49	1.15	-0.21	2.56	0.17	0.60	0.22
	2. 観光施設利用者指数	0.92	0.66	-1.50	2.34	2.37	-2.33	0.30	0.17	-0.59	0.37	-0.52	0.99
	3. 大型小売店等販売額	1.02	0.46	-0.14	-1.21	-0.75	2.35	-2.46	1.56	-1.78	1.36	0.27	1.07
	4. 鉱工業生産指数	0.34	-0.05	0.27	1.74	-2.31	2.38	0.19	2.48	-0.80	1.68	-2.63	0.56
	5. 鉱工業出荷指数	0.52	-0.08	0.81	0.34	-1.74	2.21	0.07	2.19	-0.02	1.04	-2.63	0.25
	6. 小名浜港輸入通関実績	0.07	-0.14	0.80	-2.35	2.34	1.45	-1.12	-0.67	1.47	0.86	-0.89	1.05
	7. いわき市中小企業融資残高	0.27	1.41	1.30	-2.06	-0.49	-0.54	1.73	-2.20	1.38	-0.85	1.16	1.84
	8. 有効求人倍率	0.48	0.60	0.91	0.76	-0.15	-0.76	0.18	-1.36	1.51	0.46	-0.25	-1.77
	9. 高速道路出入交通量	0.48	-0.06	-0.92	0.48	0.30	0.32	0.40	0.25	-0.87	0.84	-0.42	0.44
遅行指数（C・I）	132.3	132.0	136.8	131.4	128.0	134.6	131.9	138.1	141.6	148.6	135.9	134.4	
前月差(ポイント)（寄与度合計）	-0.06	-0.35	4.80	-5.35	-3.40	6.56	-2.65	6.15	3.51	6.97	-12.63	-1.53	
遅行系列寄与度内訳	1. 入湯税調定人員	-0.72	0.67	0.97	-0.70	0.47	-1.38	-1.54	1.13	0.67	2.13	-2.67	-1.23
	2. いわき市中央卸売市場取扱高	-2.95	-1.63	3.69	-2.43	-0.36	0.32	-3.73	3.99	-3.33	-0.66	-1.25	-2.13
	3. 鉱工業在庫指数	2.05	0.38	-0.65	-1.30	-1.27	3.89	0.90	1.04	2.30	-0.28	-4.59	-0.54
	4. いわき市中小企業融資利率	0.24	-0.82	1.53	-1.55	-2.24	1.20	0.84	1.14	1.98	4.35	-3.55	2.65
	5. 法人市民税調定額	2.47	0.74	-1.19	1.89	-1.82	1.23	-0.26	-0.88	0.04	1.07	-0.60	-1.10
	6. 雇用保険受給者実人員（逆）	-1.29	0.14	0.34	-1.32	1.53	0.84	0.79	-0.62	1.31	-0.12	-0.42	0.31
	7. 一致指数トレンド成分	0.13	0.17	0.11	0.07	0.28	0.47	0.35	0.34	0.55	0.48	0.45	0.50

注1) C Iはトレンド（長期的趨勢）と、トレンド周りの変化を合成し作成される。

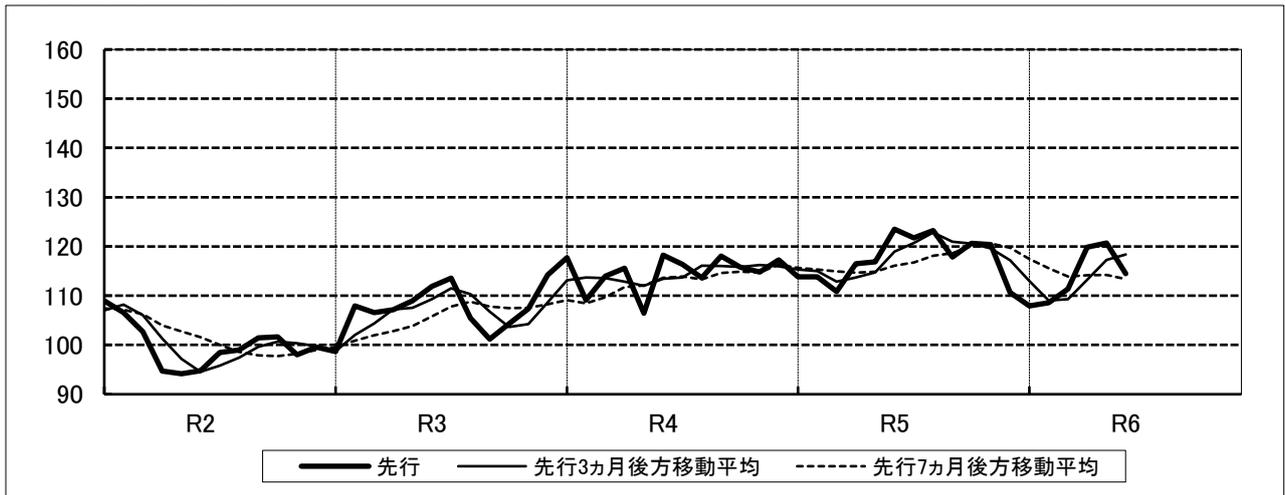
2) 一致指数トレンド成分とは、一致指数の長期的趨勢が先行指数、遅行指数に与えた影響を示す。

3) 寄与度とは、指数の変化にそれぞれの指標がどの程度の影響を与えたかを示す。

④ CIの推移

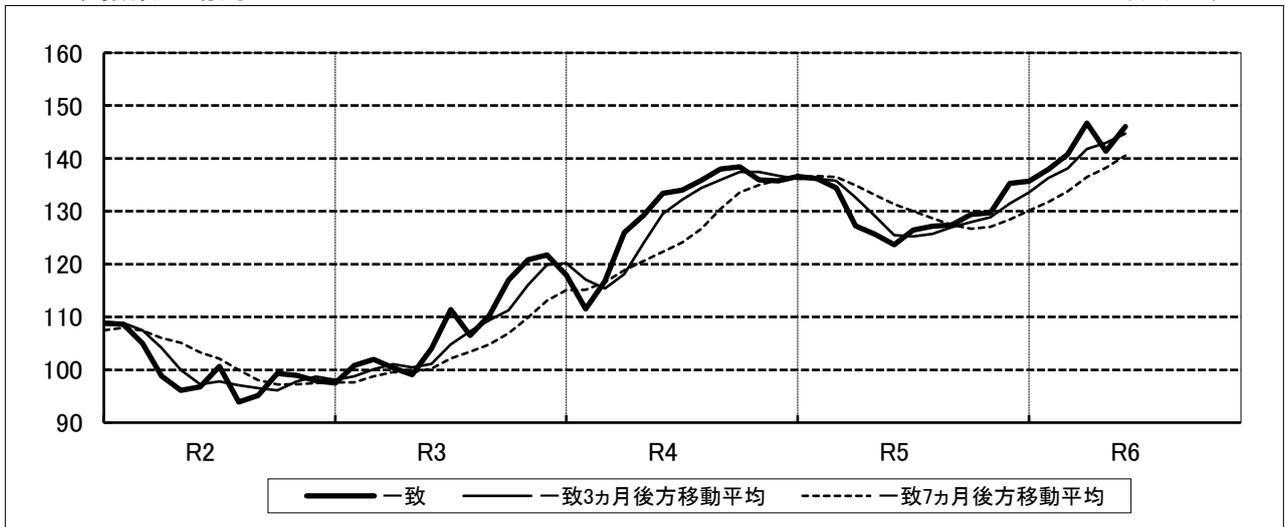
・先行指数の推移

(令和2年=100)



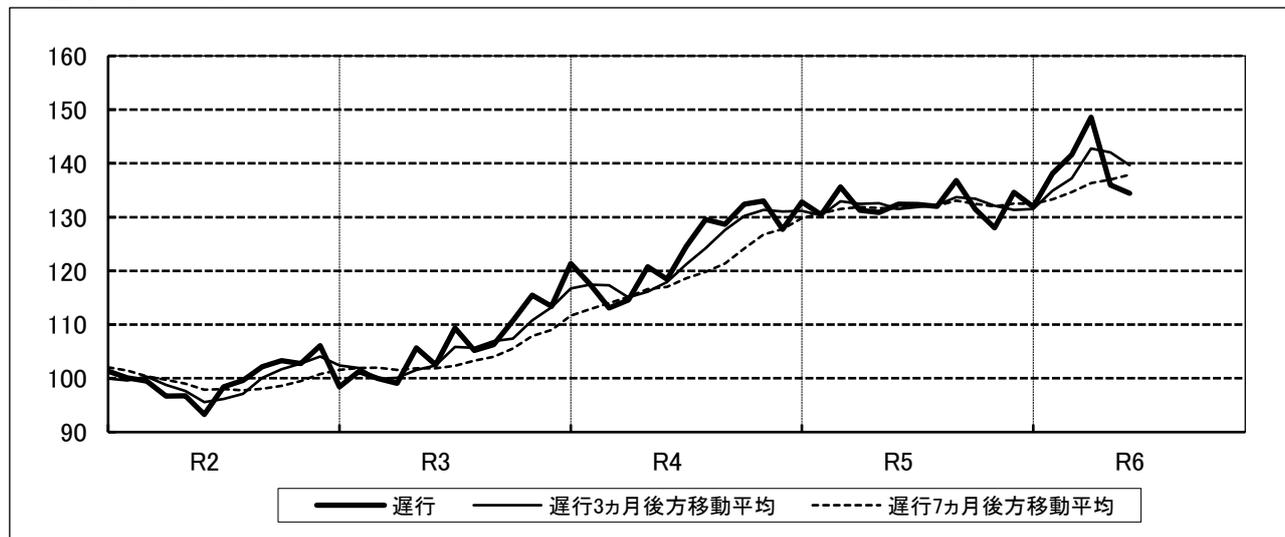
・一致指数の動向

(令和2年=100)



・遅行指数の動向

(令和2年=100)



⑤ CIデータ

・先行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	138.6	127.9	133.4	126.2	123.0	126.7	126.0	124.8	124.9	124.5	124.8	117.3
28	120.5	113.6	106.6	115.5	114.1	108.7	115.9	110.3	105.1	111.1	110.6	114.7
29	108.7	112.2	113.3	116.3	113.1	121.7	113.5	120.1	122.8	114.7	114.3	120.7
30	118.1	115.1	112.3	113.9	115.0	115.0	114.1	112.7	108.3	111.8	116.8	113.0
1	110.5	116.8	114.7	110.9	112.7	113.4	108.4	108.9	110.6	102.9	103.1	109.0
2	109.0	106.6	102.7	94.7	94.2	94.8	98.5	99.0	101.4	101.6	98.0	99.6
3	98.7	107.9	106.5	107.1	108.9	111.9	113.6	105.4	101.2	104.3	107.3	114.2
4	117.7	109.1	114.0	115.6	106.5	118.3	116.3	113.6	118.0	115.8	114.8	117.3
5	113.8	113.8	110.9	116.5	116.9	123.5	121.8	123.2	117.9	120.6	120.4	110.7
6	107.9	108.6	111.4	119.8	120.7	114.5						

・一致指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	146.4	144.8	143.4	145.3	144.5	141.4	143.2	143.6	143.4	137.6	136.1	134.3
28	133.8	132.2	123.9	127.9	123.6	128.0	129.4	124.6	128.3	134.3	138.0	139.7
29	136.3	136.2	137.4	135.7	137.2	135.7	129.4	131.1	129.5	126.5	129.0	132.8
30	127.4	125.9	122.8	120.3	120.3	114.8	114.2	114.5	114.8	112.5	108.8	106.1
1	106.7	109.0	111.1	113.2	110.1	109.0	105.2	108.9	108.8	102.4	109.4	109.0
2	108.8	108.6	105.0	98.8	96.1	96.8	100.6	93.9	95.1	99.3	98.9	97.9
3	97.5	100.8	102.0	100.4	99.0	104.0	111.4	106.5	110.3	117.0	120.8	121.8
4	117.9	111.5	116.8	126.0	129.2	133.4	134.0	135.9	138.0	138.4	135.9	135.8
5	136.6	136.2	134.4	127.2	125.7	123.7	126.5	127.2	127.4	129.4	129.7	135.3
6	135.7	137.9	140.8	146.7	141.4	146.1						

・遅行指数

(令和2=100)

年\月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
27	150.3	149.9	157.9	153.5	152.5	147.2	150.1	146.7	147.5	147.1	141.6	140.7
28	139.5	145.1	139.0	137.5	134.4	132.2	131.7	133.5	130.5	133.2	129.2	127.5
29	131.6	122.3	128.1	123.9	118.2	117.3	116.5	113.2	118.4	114.9	117.8	121.1
30	114.5	114.9	120.9	117.7	125.2	120.8	117.3	117.7	122.0	117.7	114.8	111.6
1	112.6	110.4	109.2	104.9	102.7	106.0	104.2	107.1	100.9	102.1	101.2	97.4
2	101.3	100.1	99.5	96.7	96.7	93.3	98.4	99.6	102.1	103.3	102.8	106.1
3	98.4	101.3	100.0	99.1	105.7	102.5	109.4	105.2	106.2	110.7	115.4	113.4
4	121.3	117.6	113.1	114.6	120.8	118.4	124.5	129.6	128.7	132.4	133.0	127.7
5	132.8	130.5	135.6	131.3	130.9	132.4	132.3	132.0	136.8	131.4	128.0	134.6
6	131.9	138.1	141.6	148.6	135.9	134.4						

(2) DI (デフレーション・インデックス)

① 概要

【先行指数】 6月は、57.1%と2ヵ月振りに50%を上回った。

【一致指数】 6月は、66.7%と2ヵ月振りに50%を上回った。

【遅行指数】 6月は、33.3%と5ヵ月振りに50%を下回った。

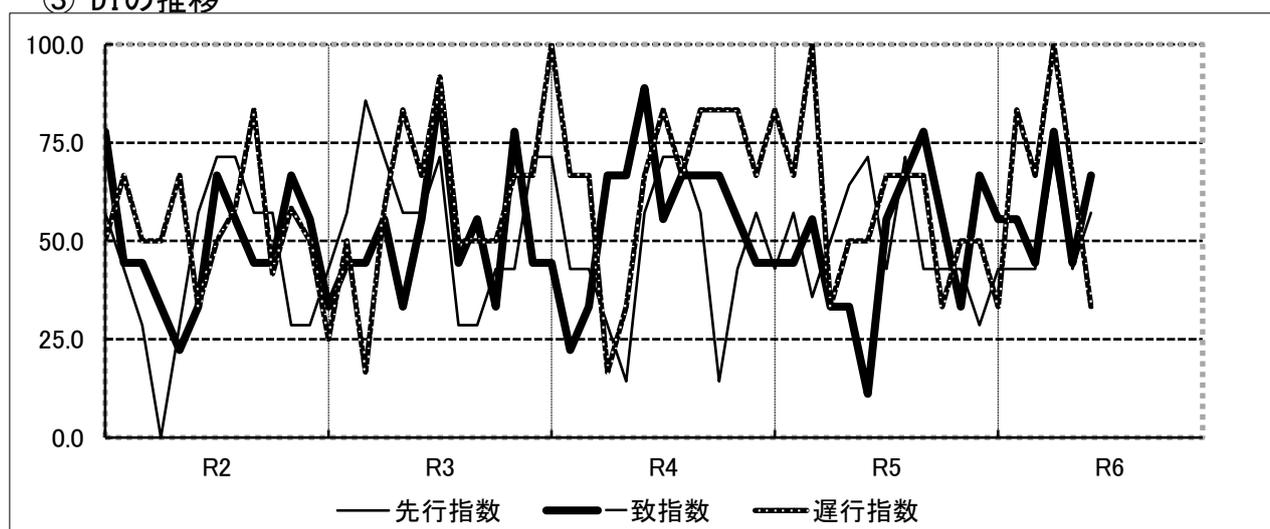
(注) 各指数とも50%が景気の拡張期と後退期との境目とされる (-景気動向指数利用の手引き-参照)

② DIの推移

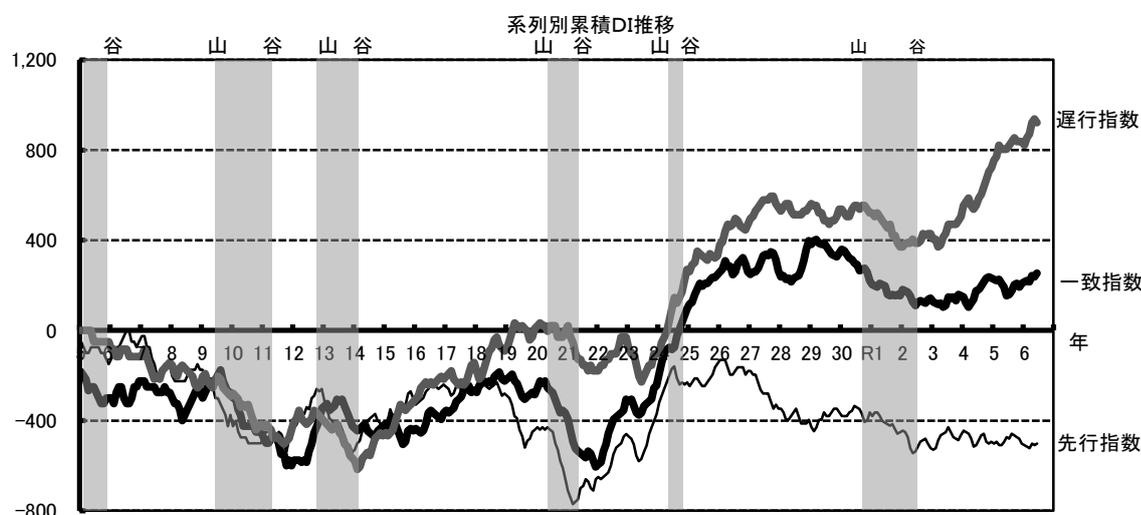
区 分	令和5年						令和6年					
	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6
先行指数 (D . I)	42.9	71.4	42.9	42.9	42.9	28.6	42.9	42.9	42.9	71.4	42.9	57.1
一致指数 (D . I)	55.6	66.7	77.8	55.6	33.3	66.7	55.6	55.6	44.4	77.8	44.4	66.7
遅行指数 (D . I)	66.7	66.7	66.7	33.3	50.0	50.0	33.3	83.3	66.7	100.0	66.7	33.3

注)DIは、先行(7指標)、一致(9指標)、遅行(6指標)に属する各経済指標について、3ヵ月前と比較して改善している指標の割合を指数としている。

③ DIの推移



(参考) 累積DIの推移 (平成5年以降)



注1) 累積指数は、基準月(平成5年1月)の値を0として各月のDIの値を次式により累積したものである。

$$\text{累積DI}(t) = \text{累積DI}(t-1) + (\text{DI}(t) - 50)$$

注2) DI及び累積DIは景気の方角のみを表すものであり、その水準や振幅の大きさは景気動向と無関係である。

注3) グラフでは各指数の動きを見やすくするため、一致指数に-200を加算してある。

注4) 影の部分は国における景気後退期を示す。

【参考】-景気動向指数利用の手引き-

(1) 景気動向指数の概要

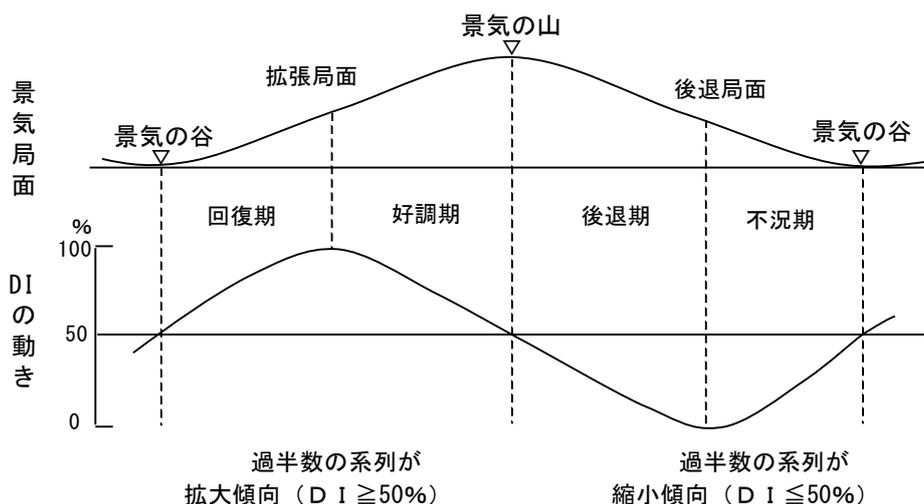
- 景気動向指数は、景気の勢いや方向性を知るために、景気の動きを敏感に反映する経済指標を組み合わせて作成された総合的な経済指標である。景気の勢いを示すC I（コンポジット・インデックス）と、景気の方角性を示すD I（ディフュージョン・インデックス）の2種類の指数があり、両者の動きを総合して景気の現状把握や将来予測等を行う。
- C I、D Iはともに、景気に先行して動く先行指数、ほぼ一致して動く一致指数、遅れて動く遅行指数の3種類の指数を作成する。一致指数は景気の現状把握に利用する。先行指数は景気の動きを予測するために利用する。遅行指数は景気の転換点や局面の確認に利用する。

(2) C I（コンポジット・インデックス Composite Index）の概要

- C Iは複数の経済指標の前月と比べた変化量を合成したものである。例えば、いわき市のC Iでは、大型小売店等販売額等9つの経済指標の変化量を合成して一致指数を作成している（詳細な計算方法については、内閣府経済社会総合研究所のホームページ http://www.esri.cao.go.jp/jp/stat/di/menu_di.htmlを参照）。
- C Iの変化の大きさは景気のテンポ（勢い）を示す。景気の拡大期にはC Iが上昇傾向を示し、後退期には下降傾向を示す。ただし、C Iは上昇・下降を繰り返しながら変化するため、景気局面の判断はD Iを含めた総合的な指標によって判断する。

(3) D I（ディフュージョン・インデックス Diffusion Index）の概要

- D Iは、複数の経済指標の変化方向を合成したものである。採用指標の各月の値を3ヵ月前の値と比較して、改善した指標の割合がD Iとなる。例えば、いわき市の一致指数では9つの指標を採用するため、そのうち3つが改善したならば $3 \div 9 = 0.333$ (DI=33.3%) と計算する。
- 一般に、50%を上回っているときに景気の拡張局面、50%を下回っているときに後退局面、50%を上から下に切るときが景気の山、50%を下から上に切るときが景気の谷とされる。



(4) 景気基準日付

景気の山・谷（拡張局面と後退局面との転換点）を景気基準日付と呼ぶ。この景気基準日付は、D Iの動きのほか、他の主要経済指標の動きなども総合的に勘案して設定されるが、国では以下のように定めている。

景気基準日付（全国）

区分	谷	山	谷	区分	谷	山	谷
第1循環		S26. 6.	S26. 10.	第9循環	S52. 10.	S55. 2.	S58. 2.
第2循環	S26. 10.	29. 1.	29. 11.	第10循環	58. 2.	60. 6.	61. 11.
第3循環	29. 11.	32. 6.	33. 6.	第11循環	61. 11.	H 3. 2.	H 5. 10.
第4循環	33. 6.	36. 12.	37. 10.	第12循環	H 5. 10.	9. 5.	11. 1.
第5循環	37. 10.	39. 10.	40. 10.	第13循環	11. 1.	12. 11.	14. 1.
第6循環	40. 10.	45. 7.	46. 12.	第14循環	14. 1.	20. 2.	21. 3.
第7循環	46. 12.	48. 11.	50. 3.	第15循環	21. 3.	24. 3.	24. 11.
第8循環	50. 3.	52. 1.	52. 10.	第16循環	24. 11.	30. 10.	R2. 5.

(5) いわき市の景気動向指数採用系列の概要

項目		内容		原データの出典
先行系列	1 自動車新規登録台数	季	代表的な耐久消費財である自動車の販売動向を示し、いわき市における消費動向が反映されている。	いわき自動車検査登録事務所、全国軽自動車協会連合会いわき支所
	2 新設住宅着工戸数	季	住宅への投資動向を表す。住宅投資の増加は建設資材需要や家具の買替え需要などの波及効果をもたらす。	福島県土木部
	3 建築確認申請受付件数	季	住宅を含む建設投資動向が反映される。家計の動向のみならず、企業等の景気見通しに影響される。	いわき市建築指導課
	4 鉱工業在庫率指数(逆)	季	鉱工業在庫指数/出荷指数により算出。景気回復局面に低下、悪化局面に上昇する。	福島県企画調整部
	5 中小企業DI(全業種)	原	企業経営者の景況感を指標化したもの。増加(好転)企業割合ー減少(悪化)企業割合により算出。企業の生産・投資活動との関連性が高い。0が横ばい(または景気の転換点)の水準。	福島県産業振興センター
	6 新規求人倍率	季	月間新規求人数/月間新規求職者数で算出。労働需給の変化が敏感に反映され、特に景気の山の判定に活用される。	ハローワーク平
	7 いわき市景気ウォッチャー先行き判断DI	原	市内の様々な職種の景気ウォッチャーの方々の生活実感を指数化したもの。50が横ばい(もしくは景気の転換点)の水準。	いわき市産業チャレンジ課
一致系列	1 公共工事受注額	移	いわき市内における公共工事の受注高。	いわき市建設業協同組合、(社)福島県建設業協会いわき支部
	2 観光施設利用者指数	季	いわき市内の主要観光施設の利用者数。平成25年第I四半期を100として指数化したもの。	いわき市産業チャレンジ課
	3 大型小売店等販売額	前	いわき市内の主要な大型小売店舗の販売額であり、本調査のため、いわき市独自で調査したデータ。	いわき市産業チャレンジ課
	4 鉱工業生産指数	季	鉱工業部門の生産数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	5 鉱工業出荷指数	季	鉱工業部門の出荷数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	6 小名浜港輸入通関実績	季	小名浜港を通過して輸入された貨物の金額。工業用原材料が多くを占める。	横浜税関
	7 いわき市中小企業融資制度融資残高	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資残高であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	8 有効求人倍率	季	月間有効求人数/月間有効求職者数で算出され、労働需給が反映される。	ハローワーク平
	9 高速道路出入交通量	季	いわき市内インターにおける車両の出入交通量。	株式会社ネクスコ・トール東北いわき事業部
遅行系列	1 入湯税調定人員	季	いわき湯本をはじめとする市内の温泉利用者数。観光客数の動向が反映されている。	いわき市市民税課
	2 いわき市中央卸売市場取扱高	季	いわき市中央卸売市場の青果部、水産部における取扱高。飲食需要が反映され、その増減に景気の動きが反映される。	いわき市中央卸売市場
	3 鉱工業在庫指数	季	鉱工業部門の在庫数量を指数化したもの。県のデータをいわき市の産業構造を基に加工した市独自の指数。	いわき市産業チャレンジ課(原データ:福島県)
	4 いわき市中小企業融資制度融資利率	前	いわき市の中小企業向け低利融資制度に係る融資利率であり、市内中小企業の資金需要の増減が反映される。	いわき市産業チャレンジ課
	5 法人市民税調定額	季	企業の所得変動を税収面から捉えた指標であり、過去1年間の経済活動の状況が反映される。	いわき市市民税課
	6 雇用保険受給者実人員(逆)	季	失業給付を受けている有効失業者数であり、景気に遅行し逆サイクルで動く。	ハローワーク平

注) 季: X-13ARIMA-SEATSによる季節調整値、前: 原数値の前年同月比、原: (四半期) 原数値、移: 12ヵ月移動平均
逆: 景気の上昇期に減少(低下)し、下降期に増加(上昇)するもの。

【参考】国・県の動き

1 経済・景気の動向

(1) 国の動向	<p>(我が国経済の基調判断)</p> <p>景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費は、一部に足踏みが残るものの、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・設備投資は、持ち直しの動きがみられる。 ・輸出は、おおむね横ばいとなっている。 ・生産は、このところ持ち直しの動きがみられる。 ・企業収益は、総じてみれば改善している。企業の業況判断は、改善している。 ・雇用情勢は、改善の動きがみられる。 ・消費者物価は、緩やかに上昇している。 <p>先行きについては、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待される。ただし、欧米における高い金利水準の継続や中国における不動産市場の停滞の継続に伴う影響など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている。また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響に十分注意する必要がある。</p> <p>(内閣府「月例経済報告」令和6年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>県内の景気は、足踏み状態となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人消費……一部に弱い動きがみられる。 ・建設需要……一部に持ち直しの動きがみられる。 ・生産活動……一進一退の状況が続いている。 ・雇用・労働……弱い動きがみられる。 ・物価……企業物価指数、消費者物価指数はともに前年を上回っている。 ・企業・金融……企業倒産件数、負債総額はともに前年を上回った。預金残高、貸出残高はともに前年を上回った。 <p>(福島県「最近の県経済動向」令和6年8月公表分)</p>

2 景気動向指数(CI)

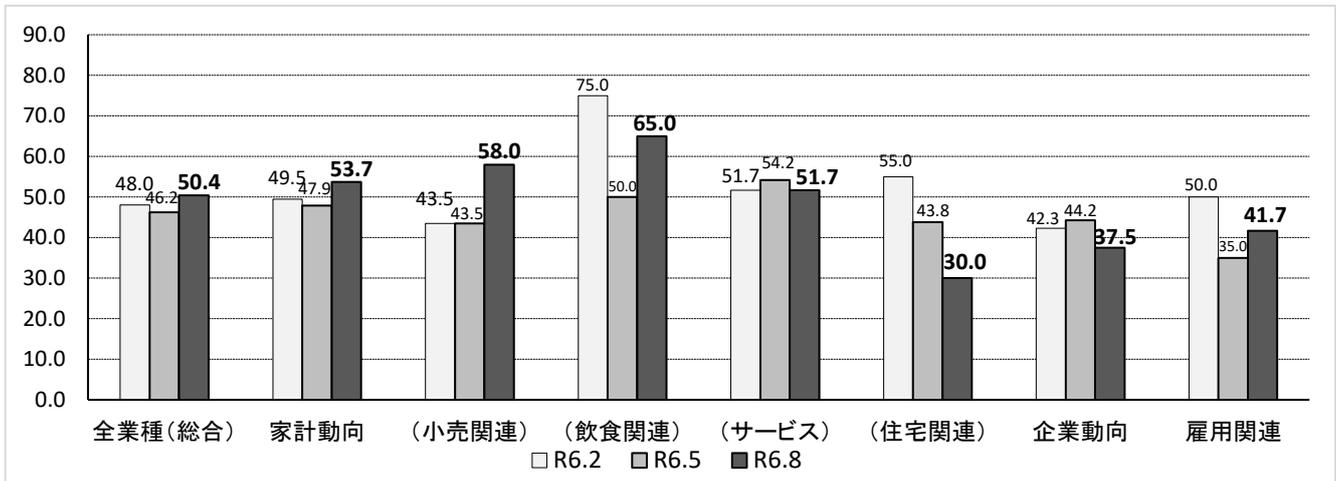
(1) 国の動向	<p>6月のCI(速報値・令和2(2020)年=100)は、先行指数:108.6、一致指数:113.7、遅行指数:106.7となった。</p> <p>先行指数は、前月と比較して2.6ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は1.04ポイント下降し、2ヵ月連続の下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.06ポイント下降し、11ヵ月ぶりの下降となった。一致指数は、前月と比較して3.4ポイント下降し、4ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.17ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。7ヵ月後方移動平均は0.16ポイント下降し、2ヵ月ぶりの下降となった。遅行指数は、前月と比較して1.5ポイント下降し、3ヵ月ぶりの下降となった。3ヵ月後方移動平均は0.20ポイント上昇し、3ヵ月連続の上昇となった。7ヵ月後方移動平均は0.04ポイント上昇し、2ヵ月連続の上昇となった。</p> <p>(内閣府経済社会総合研究所「景気動向指数」令和6年8月公表分)</p>
(2) 県の動向	<p>1 概 括</p> <p>6月の景気動向指数(CI:コンポジット・インデックス、R2年=100)は、先行指数109.6ポイント、一致指数69.2ポイント、遅行指数103.9ポイントとなった。</p> <p>先行指数は、前月(110.4ポイント)を0.8ポイント下回り、3ヵ月振りの下降となった。</p> <p>一致指数は、前月(68.2ポイント)を1.0ポイント上回り、4ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>遅行指数は、前月(103.5ポイント)を0.4ポイント上回り、2ヵ月振りの上昇となった。</p> <p>2 一致指数の動向</p> <p>寄与度がプラスの系列</p> <p>建築着工床面積(鉱工業)、百貨店・スーパー販売額(既存店)、鉱工業生産指数、最終需要財出荷指数</p> <p>寄与度がマイナスの系列</p> <p>有効求人倍率、生産財出荷指数、所定外労働時間指数(全産業)、雇用保険受給者実人員</p> <p>(福島県「福島県景気動向指数」令和6年8月公表分)</p>

II いわき市景気ウォッチャー調査：令和6年8月時点

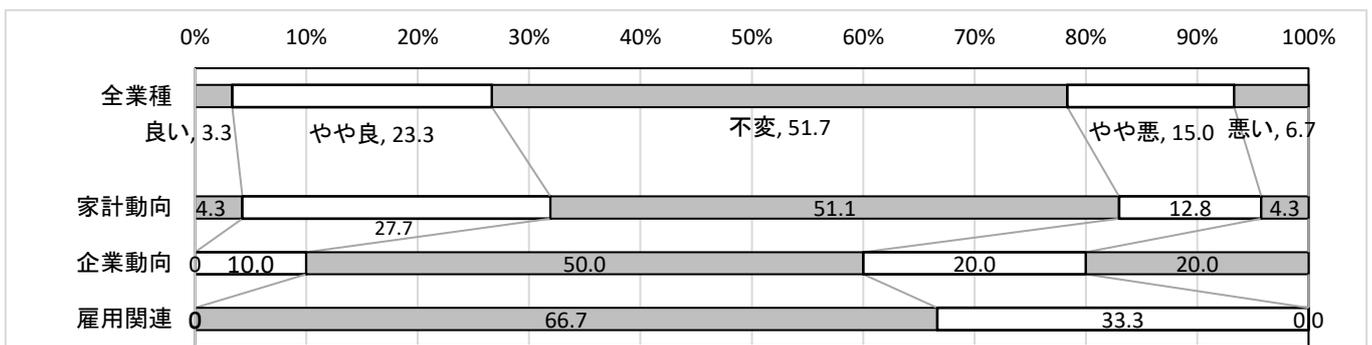
1 景気の現状について

(1) 現状判断DI

- 全業種（総合）の現状判断DIは50.4と、前回より4.2ポイント上昇した。内訳では、家計動向、雇用関連が上昇、企業動向が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が53.7と前回より5.8ポイント上昇した。家計の内訳では、小売、飲食関連が上昇し、サービス、住宅関連が低下した。企業動向は37.5と6.7ポイント低下し、雇用関連は41.7と6.7ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、3ヵ月前と比べて「良くなっている」は3.3%であり、「やや良くなっている」が23.3%、「変わらない」が51.7%、「やや悪くなっている」が15.0%、「悪くなっている」が6.7%となった。



(2) 現状判断の理由

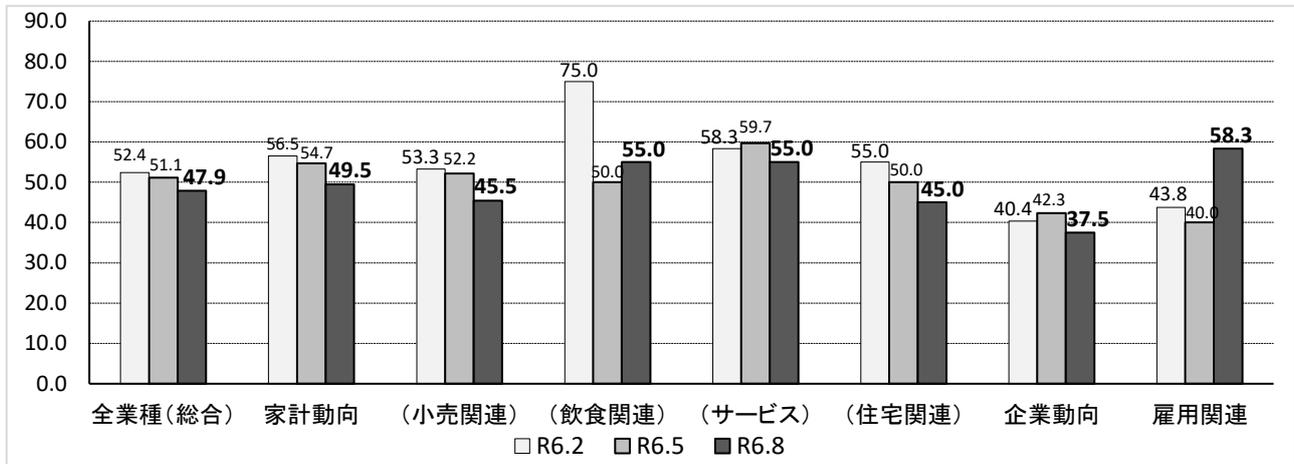
現状判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	4	10	4	18	1. 受注量や販売量	1	3	0	4	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	7	6	2	15	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	0	0	0	0
3. 単価の動き	2	0	0	2	3. 取引先の様子	0	2	3	5	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	5	2	8	4. 競争相手の様子	0	0	1	1	4. 周辺企業の動き	0	1	1	2
5. 競争相手の様子	0	1	0	1	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1
6. その他	1	2	0	3										
合計	15	24	8	47	合計	1	5	4	10	合計	0	2	1	3

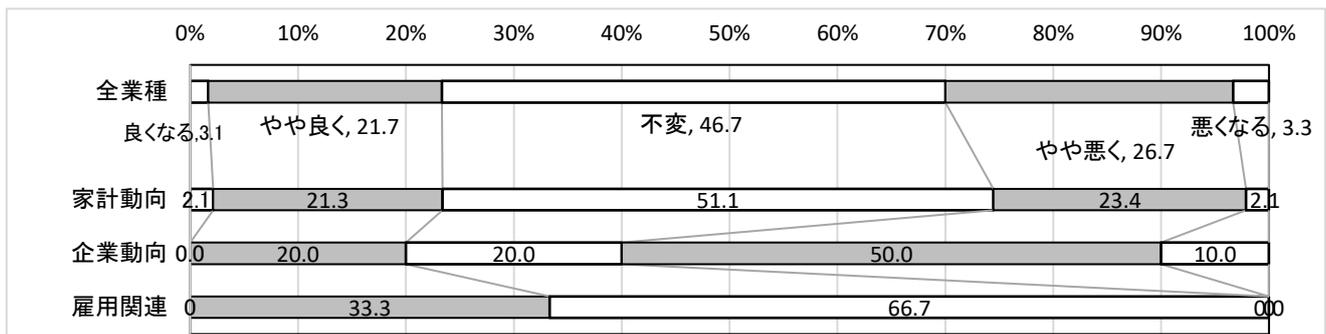
2 景気の先行きについて

(1) 先行き判断DI

- 全業種（総合）の先行き判断DIは47.9と、前回より3.2ポイント低下した。内訳では、雇用関連が上昇し、家計動向、企業動向が低下した。
- 主要業種別では、家計動向が49.5と前回より5.2ポイント低下した。家計の内訳では、飲食関連が上昇し、小売、サービス、住宅関連が低下した。企業動向は37.5と4.8ポイント低下し、雇用関連は58.3と18.3ポイント上昇した。



- 全業種（総合）の回答内容をみると、2~3ヵ月先には「良くなる」は3.1%であり、「やや良くなる」が21.7%、「変わらない」が46.7%、「やや悪くなっている」が26.7%、「悪くなっている」が3.3%となった。



(2) 先行き判断の理由

先行き判断の理由として、家計動向では「来客者数の動き」、企業動向では「取引先の様子」、雇用関連では「求職者数の動き」「周辺企業の動き」などが多く挙げられた。

項目(家計)	良い	不変	悪い	合計	項目(企業)	良い	不変	悪い	合計	項目(雇用)	良い	不変	悪い	合計
1. 来客者数の動き	6	10	2	18	1. 受注量や販売量	1	1	2	4	1. 求人数の動き	0	0	0	0
2. 販売量の動き	0	3	4	7	2. 受注価格や販売価格	0	0	0	0	2. 求職者数の動き	1	0	0	1
3. 単価の動き	2	0	0	2	3. 取引先の様子	1	1	4	6	3. 採用者の動き	0	0	0	0
4. お客様の様子	1	9	3	13	4. 競争相手の様子	0	0	0	0	4. 周辺企業の動き	0	1	0	1
5. 競争相手の様子	0	0	0	0	5. その他	0	0	0	0	5. その他	0	1	0	1
6. その他	2	2	2	6										
合計	11	24	11	46	合計	2	2	6	10	合計	1	2	0	3

3 市内景気に関する自由意見

(アンケート自由意見欄にご記入頂いた内容。
記入された方が特定される情報等は割愛させていただきました。
また、同種のご意見はまとめさせていただきました。)

(街の様子、消費の動向)

- 猛暑で街を歩く人もなく、夏休み中。
- 今年の夏の猛暑により外出をひかえる方が多くみられる。昨年より閉店するお店が増えている。
- 飲食店への人の出入りは「にぎやかさ」が増したように思うが、継続し、また他業種に拡がりがあるか、注視していく必要がある。
- 景気は西高東低である。東北は企業の元気がない。

(物価高の影響)

- 物価の高騰により、外出や飲み会の回数が減ると思う。
- 物価高騰が価格に転嫁できず、利益率悪化につながっていると感じる。
- 株価や為替の乱高下で経済が落ち着かない。為替が落ち着けば急激な物価上昇は避けられると思うが、各地で起こっている戦争が物価不安定要素を呼び起こすのではと危惧している。
- 7-8月は、猛暑続きで消費がやや落ち込み気味の上に、物価上昇がとどまる事がないので、人の働き・消費をすることが変わってきているように思う。

(業界別の課題と取り組み)

- 運転手が増える努力をしている。二種免許の補助制度、プレミアムタクシー券などに感謝。
- 人材不足に直面している。
- 「運転資金がない」「借入れができない」「405事業（経営改善計画策定支援事業）を待ってられず、今すぐ資金が欲しい」という相談が多くなっている。

－ いわき市景気ウォッチャー調査の概要 －

(1) 調査の目的

市内の家計動向関連、企業動向関連、雇用関連の事業所等で働く市民の方々を対象にアンケートを実施することにより、いわきの街角景気及びその変化を迅速かつ的確に把握する。

(2) 調査客体及び有効回答率

家計動向関連76人、企業動向関連23人、雇用関連8人の合計107人を調査客体とする。
今回（令和6年8月）の調査の回答数は60人（有効回答率56.1%）である。

分野	調査客体	構成比	有効回答数	業種
家計動向関連	76人	71%	47人	
小売関連	34人	32%	22人	小売店、スーパー、コンビニ等
飲食関連	8人	7%	5人	居酒屋、ファーストフード等
サービス関連	25人	23%	15人	タクシー、ホテル、観光施設等
住宅関連	9人	8%	5人	工務店、不動産販売・仲介・賃貸等
企業動向関連	23人	21%	10人	広告、ビル管理、警備、会計等
雇用関連	8人	7%	3人	人材派遣、職業紹介等
合計	107人	100%	60人	

※構成比は分野ごとに四捨五入しているため、積み上げが100にならない場合がある。

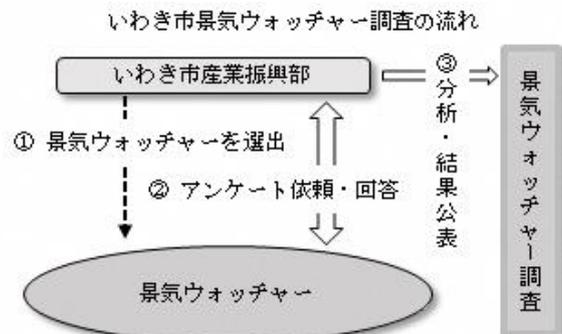
(3) 調査客体

次の事項について、毎年2月、5月、8月、11月に調査を実施する。

- 1) 景気の現状に対する判断（方向性）とその理由
- 2) 景気の先行きに対する判断（方向性）とその理由

(4) 調査方法

いわき市産業振興部において景気ウォッチャーを任命し、調査を実施する。調査票の配付・回収・結果の分析は産業振興部と外部調査機関（㈱社会システムプランニング）が協力して行う。調査結果は、産業振興部が原則として調査の翌月に公表する。



(5) D I の算出方法と見方

景気の現状や先行きに対する判断を次の5段階に区分し、各回答区分の構成比（%）に対して、対応する点数を乗じることにより D I を算出する。

D I は50が景気判断の分かれ目であり、50を上回れば景気の拡大局面、50を下回れば後退局面と判断する。

回答区分	現状判断 (3ヵ月前と比較)	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
	先行き判断 (3ヵ月後の見通し)	良くなる	やや良くなる	変わらない	やや悪くなる	悪くなる
点数		1	0.75	0.5	0.25	0

(6) 景気ウォッチャー調査票

調査票は、原則としてFAXまたはメールにより配付・収集を行う。

いわき市景気ウォッチャー調査票 (令和 年度第 回)	
	令和 年 月 日
ご回答者	
ご所属・お名前 _____ 様	
あなたの身の回りの景気（仕事の状況や、仕事を通じて接するお客様の様子）についてご回答ください。	
該当項目を1つだけ選択し、番号に○をしてください。例：① 良くなっている。	
【質問1】 今月の景気は3ヵ月前と比べて、良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなっている 2 やや良くなっている 3 変わらない 4 やや悪くなっている 5 悪くなっている
【質問2】 質問1のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【質問3】 あなたの仕事の状況やお客様の様子からみて、2～3ヵ月先は、今月より良くなっていると思いますか、悪くなっていると思いますか？ 1つお答えください。	1 良くなる 2 やや良くなる 3 変わらない 4 やや悪くなる 5 悪くなる
【質問4】 質問3のご回答理由では、どのような点に最も着目しましたか？ 1つお答えください。	1 来客数の動き 2 販売量の動き 3 単価の動き 4 お客様の様子 5 競争相手の様子 6 それ以外
【自由回答（市内景気動向に関して）】	

※質問2、4について、上記は家計動向関係向けの選択肢の内容。

企業動向関係、雇用関係向けの選択肢の内容は次の通り。

企業動向関係

- 1 受注量や販売量の動き
- 2 受注価格や販売価格の動き
- 3 取引先の様子
- 4 競争相手の様子
- 5 それ以外

雇用関係

- 1 求人数の動き
- 2 求職者数の動き
- 3 採用者の動き
- 4 周辺企業の動き
- 5 それ以外

編集・発行 いわき市 産業振興部 産業チャレンジ課
〒970-8686 いわき市平字梅本 21 番地
電 話 0 2 4 6 - 2 2 - 7 4 7 6 (直通)
e-mail : sangyochallenge@city.iwaki.lg.jp
